

1 文献名
『海ほがら』
2 学校名
若松小学校
3 災害名
昭和 34 年（1959 年）伊勢湾台風
4 記述の概要
<p>(1) 雨や風、地震などの様子</p> <p>伊勢湾台風の前日には、風が強くなってきたので児童を通学団別に一斉下校させ、昼から全職員で東風の当たるところの窓ガラスを外からたる木で打って戸を補強した。講堂には 50～60 人の住民が避難した。(P123)</p>
<p>(2) 学校内や地域の被害の状況</p> <p>若松地区は台風の被害はよくあったが、中でも昭和 28 年 9 月の十三号台風と昭和 34 年 9 月の伊勢湾台風の被害は、かなりひどいものだった。</p> <p>校舎の被害は、真ん中の屋根の瓦が少し飛んだ程度で済んだ。小川神社の松がたくさん折れ、海よりの家では床上浸水の被害を受けた。(P123)</p>
<p>(3) 復旧の様子</p> <p>翌日曜日には、先生方が校区をまわった。教科書などを流したものもたくさんいた。教科書は再度交付してもらった。</p> <p>月曜日には、平常に登校し、授業にも支障はなかった。(P123)</p>
(4) 体験談
(5) 教訓など
(6) その他